

お茶の水女子大学

グローバルリーダーシップ研究所セミナー

世界と自分 つながりの中で生きる

学生時代にメキシコシティのスラムで行なったフィールドワークをきっかけに選んだ、「ジャーナリスト」という仕事。それ以来、ずっとスペイン語圏を中心とする地域での取材活動と、ボランティア主体のNGO「ストリートチルドレンを考える会」の運営を続けてきました。その道筋を通して、私自身、誰もが自分らしく働き生きられる世界を築くためには、何を大切にし、どう考え、どう生きていくべきなのかを模索しています。

時代錯誤としか思えないような戦争や暴力が次々と引き起こされ、対立が煽られ、格差の拡大と分断が進む世界で、どう生きるのか。それが今、私たち一人ひとりに問われていると感じます。考えるための材料として、これまでの取材経験から学んできたことを、みなさんと共有します。

2026

4月22日 水

15:00 - 16:30

お茶の水女子大学

国際交流留学生プラザ2階 多目的ホール（対面開催）

どなたでも参加いただけます ※参加無料・事前登録制

登壇者

工藤 律子

ジャーナリスト。東京外国語大学大学院在籍中より、ジャーナリストとしての活動を開始。主なフィールドはスペイン語圏。著書に、『ストリートチルドレン』（岩波ジュニア新書）『ルポ つながりの経済を創る スペイン発「もうひとつの世界」への道』（岩波書店）『マラス 暴力に支配される少年たち』（集英社。第14回開高健ノンフィクション賞受賞）『働くことの小さな革命 ルポ 日本の「社会的連帯経済」』（集英社新書）など、多数。NGO「ストリートチルドレンを考える会」の共同代表でもある。



詳細



事前登録



グローバルリーダーシップ研究所
<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/index.html>

✉ IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp

🌐 <https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event>